

### 3 乗降場

	整備基準	図面及び各項目の名称・番号等	設計内容	判定	留意事項
				基準	
乗降場	粗面又は滑りにくい床仕上材		(床仕上材)		
	乗降場へ通ずる出入口から縁端に至る部分に線状ブロックを敷設		平面図に敷設箇所を記入し、使用する線状ブロックのカタログ等を添付してください。		
	乗降場に停止するエレベーターの昇降路の出入口から縁端に至る部分に線状ブロックを敷設		平面図に敷設箇所を記入し、使用する線状ブロックのカタログ等を添付してください。		
	縁端にホームドア、可動式ホーム柵の設置又は点状ブロックを敷設		平面図に設置箇所又は敷設箇所を記入し、点状ブロックを敷設した場合はカタログ等を添付してください。		
	両端（乗降場の終端部）に転落防止用の柵を設置		平面図に設置箇所を記入してください。		

(注意) 1 用語の説明

「線状ブロック」及び「点状ブロック」については、注意事項（共通）を参照してください。

### 4 階段

	整備基準	図面及び各項目の名称・番号等	設計内容	判定	留意事項
				基準	
階段	両側に連続した手すりを設置		(手すり) ・有 ・無		
	回り段を設けない。		(回り段) ・有 ・無		
	粗面又は滑りにくい床仕上材		(床仕上材)		
	段を識別しやすい構造		・踏面、蹴上げ、段鼻の色を変える。 ・色違いのノンスリップを取り付ける。 ・その他 ( )		
	つまずきにくい構造		・蹴込み板を設け、段鼻を突き出さない。 ・その他 ( )		
	段の上端及び下端付近の通路等及び踊場に点状ブロックを敷設		平面図に敷設箇所を記入し、使用する点状ブロックのカタログ等を添付してください。		

(注意) 1 用語の説明

「点状ブロック」については、注意事項（共通）を参照してください。